

日付	2019年7月28日(日)	天候	晴れ
主な日程	県人会交流会 兼 研修小旅行(オランブラ 東山農場)		
時 間	研 修 内 容	研修の写真	
7:00 県人会員の皆さんと 出発	<p>ブラジル岐阜県人会の皆さんと一緒にバスで研修に出かけました。はじめに長屋会長に日程や県人会の活動について説明をしていただきました。その後、派遣団も一人ずつ出身地なども交えて挨拶をしました。岐阜県人会からは様々な世代の方に30名ほど参加していただくことができました。研修に向かうバスの車中から、早くも故郷「岐阜」のことなど、色々な話ができ交流を深められました。</p>		
9:45 オランブラ	<p>最初はオランブラでの研修です。入ってしばらく進んだところに池があり、その周囲にはバンガローがありました。オランダにちなんで民族衣装を着た方や、ゴッホの絵が数枚展示されており、オランダの雰囲気を感じるとともに、世界各国から多くの人が集まっている国、ブラジルを実感しました。</p>		
14:10 オランブラ博物館	<p>その後、ガーベラを栽培している施設を見学しました。土耕栽培でしたが、日本とは土や畝が違っていました。ガーベラは切り花として販売しているようで、商品の保管に使う冷蔵庫内も見ることができました。</p> <p>次にひまわり畑に行きましたが、その広大さに、一緒に見学した県人会の方も含めて、一同驚きの規模でした。県人会の方からブラジルではひまわり油が生産されていて、高価でドレッシングなどに使われると教えていただきましたが、この農場で栽培されるひまわりは、鳥の餌用として栽培されているとのことでした。農場主さんから、よい土壌づくりを心がけているとお話を聞きました。</p> <p>最後に、オランブラ内の博物館を視察しました。オランダからの移民に関する資料が多く展示されていました。館内には、オランダから10代で移民された方がいらっしやり、オルガンを弾いていただきながら、移民の話聞くことができました。</p>	 	
15:15 東山農場	<p>はじめにコーヒーを少しいただいた後に、現在のオーナーである岩崎さんの住宅前で、コーヒーの乾燥について説明を聞きました。その後、バスで移動し、コーヒー畑の見学をしました。コーヒー畑内の展望台から周囲を見渡すと、農園の土地はとて広いことや、土の様子などが改めて分かりました。続いて移民収容所を見学した後、最後にコーヒーの収穫と分別について、実演を交えた説明を聞きながら学ぶことができました。</p>		
移動のバス内 ビデオ鑑賞 「ハルとナツ」	<p>行きと帰りのバスの中で、ブラジル移民を題材としたドラマ『ハルとナツ 届かなかった手紙』のDVDを観ました。これはNHKが「放送80周年記念 橋田壽賀子ドラマ」と銘打って放送した開局記念番組のテレビドラマです。時間の都合で5話全てを観ることはできませんでしたが、移民者の大変な苦労について、改めて知ることができました。研修小旅行の最後には、一日のお礼と感謝の気持ちを込めて、参加してくださった全ての県人会の方に派遣団のお土産を渡し、お別れしました。</p>		
一日を終えて	<p>今日一日、県人会の皆さんと一緒に研修し、たくさんお話ができました。私と出身地が近くの方もいらっしやり驚きました。明日の研修は朝早く、レジストロでのファームステイも始まるため、体調管理に気をつけるとともに、自分のテーマについてしっかり研修したいと思います。</p> <p style="text-align: right;">文責：瀨瀬 仁志</p>		